

ホッと通信

知ってうれしい豆知識

2017年10月号 vol.5

今月の誕生石

オパール

【石言葉】希望・幸福・安楽

虹のような遊色効果が魅力的。幸運のお守りとされ、身につける者に美しさや成功を運ぶと言われます。



七五三の由来と歴史 安心!着付けチェックリスト付き

三歳の男子と女子、五歳の男子、七歳の女子がお宮参りをする日本の伝統行事

11月15日
は
七五三

七五三の起源は室町時代に遡ります。昔は今のように病院もなく、子どもの死亡率が高かったため、7歳までは「神の子」（現世に魂がしっかり定着していない）とされていました。

七五三はこの年齢まで無事に成長したことへの感謝と、幼児から少年・少女期への節目にこれからの将来と長寿を願うお祝いとして、江戸時代の武家社会を中心に、関東から全国へ広まっていきました。今のように7歳、5歳、3歳ごとのお祝いになったのも江戸時代からとされています。

これは7・5・3の奇数は昔からおめでたい数であった事も関係しているようです。

現代でもお子様の健やかな成長と幸せを願ってお祝いされている「七五三」。今年、お子様の七五三を迎えるという方は、ぜひご家族でお祝いしてあげてください。



3歳 髪置きのお祝い

これは男女共にいいます。江戸時代、男女共に3歳までは髪の毛を伸ばさず、剃り続けていたそうで（昔は頭髪から病気が入ると考えられていた為）3歳まで元気に成長したら、そこから髪の毛を伸ばす区切りにしたそうです。

5歳 袴着のお祝い

5歳になった男子が初めて袴を着るお祝いをするものだったそうです。七五三と言えば11月15日ですが、これは徳川五代将軍徳川綱吉の息子、徳松君の袴着のお祝いをこの日に行ったからと伝えられています。

7歳 帯解のお祝い

女の子が7歳になった年のお祝いで、それまで紐で着ていた着物はこの年から大人と同じ様に帯で締める着物になります。帯解のお祝いは「7歳までは神のうち」と定まらずにいた魂を、しっかりと留めるという意味がありました。

3歳お祝い着 小物一式チェックリスト



注1. 被布コートを着せず、祝い帯をつける事もできます。

5歳お祝い着 小物一式チェックリスト



7歳お祝い着 小物一式チェックリスト



※3歳、5歳、7歳それぞれ、場合や地域によって必要な小物が異なる事があります。予めご了承ください。